

平成20年度自尊感情調査結果について

自分に自信を持ち何ごとにも積極的に取り組む青少年は、青少年アンビシャス運動が目指す青少年像であります。このため、平成18年11月スタートの第2期青少年アンビシャス運動の目標のひとつに「自尊感情の向上」が掲げられました。

本調査は、県内の子どもたちの自尊感情の実態を把握し今後の運動の基礎資料とするため、平成19年度より実施しており、このたび2回目となる平成20年度の結果を取りまとめたものです。

また、平成20年度は自尊感情と生活実態との関係について明らかにするため、生活実態についても調査を実施しました。

自尊感情とは「自己に対する評価感情で、自分自身を基本的に価値あるものとする感覚」と定義される。一般に自尊感情の高い子どもは精神的に安定し、何ごとにも意欲的で前向きに生きようとする傾向にあると言われている。

1 調査の方法

(1) 回答数

区分	合計	小学4年生	小学6年生	中学2年生	中学3年生
全県・児童生徒 (各学年約1割)	(107校) 12,867人	3,191	3,568	3,242	2,866
アンビシャス広 場参加・児童生徒	(134広場) 1,487人	605	584	208	100

(2) 期 間 平成20年12月～平成21年2月

(3) 調査票 ○自尊感情調査 ○生活実態調査

(4) 実施方法

○全県・児童生徒

市町村教育委員会を通じて調査対象となった小学校並びに中学校に調査票を配布し、回答された調査票を返送してもらった。

○アンビシャス広場参加・児童生徒

各アンビシャス広場へ直接調査票を配布し、回答された調査票を返送してもらった。

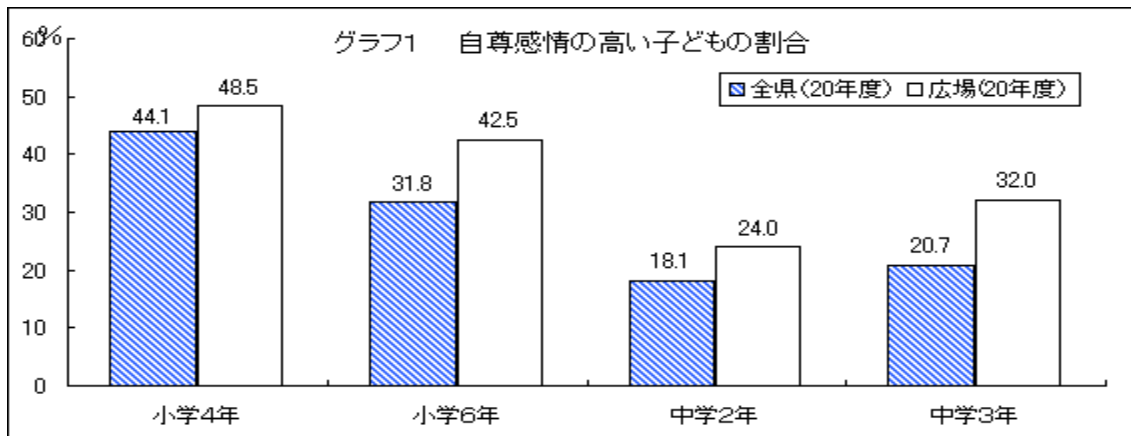
2 結果の概要

(1) 自尊感情

小学生に比べ中学生の方が、自尊感情が低くなっている。これは、一般的に学年が上がるにつれて自我が発達することにより、自分に対するマイナス評価が強くなると言われ、上の学年になるほど自尊感情は低くなる傾向にある。

また、昨年と同様にアンビシャス広場に参加している児童生徒の方が、全県の児童生徒に比べ自尊感情が高い傾向にある。

全体として、平成19年度の結果とほぼ同様の傾向が見られる。

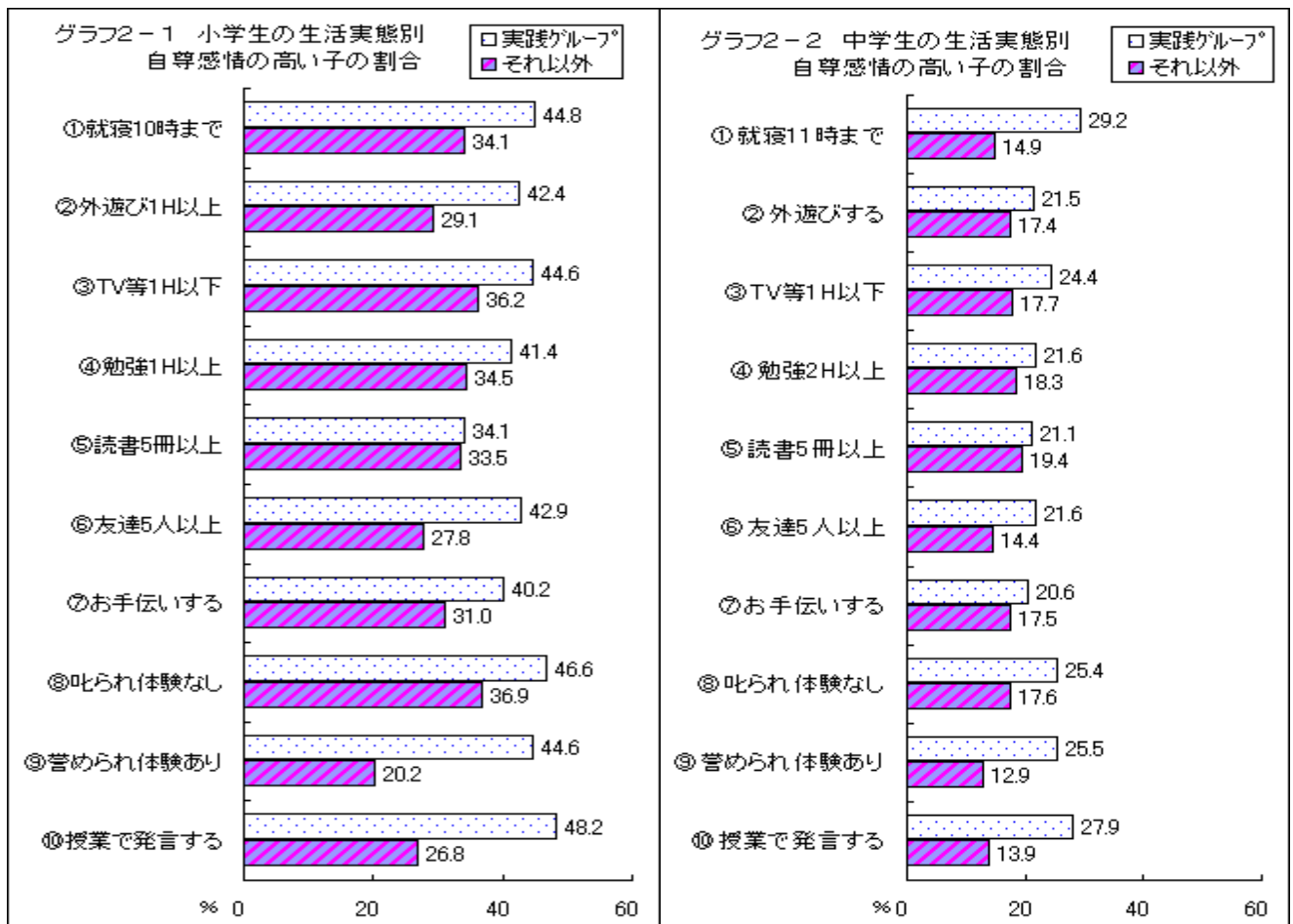


(参考:H19年度) (48.4) (51.9) (32.4) (41.9) (17.1) (29.5) (18.6) (31.0)

(2) 自尊感情と生活実態の関係

自尊感情に生活実態が及ぼす影響を把握するため、望ましいとする生活習慣を実践するグループとそれ以外のグループにおける自尊感情の高い子どもの割合を調べた。

小学生、中学生のいずれにおいても、望ましい生活習慣を実践するグループの方が、それ以外のグループに比べ自尊感情が高い傾向にある。



平成19年度と平成20年度調査での自尊感情の高い子どもの割合について大きな変化はみられないが、いずれもアンビシャス広場に参加している児童生徒の方が自尊感情が高い傾向にあり、アンビシャス広場での多様な体験や、自由遊び、地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流が、自尊感情の向上により影響を与えていることがうかがえる。

また、望ましい生活習慣を実践する児童生徒の方が、自尊感情が高い傾向にあることから、特に家庭や学校での適切な働きかけが重要であることが分かる。

3 今後の取り組み

子どもたちの自尊感情を向上させるため、アンビシャス広場の拡充や家庭教育の充実を図るなど、青少年アンビシャス運動のさらなる拡大に努めるとともに、学校が中心となって推進する教育力向上福岡県民運動との連携を進めることで学校現場での働きかけに努める。

なお、当該調査は平成23年度まで継続して実施する予定であり、今後実施される事業による子どもたちの自尊感情の変化を把握していくこととしている。

《自尊感情調査》

米国の心理学者ローゼンバーグの自尊感情尺度調査での設問を児童にわかりやすく翻訳した。肯定的な5つの設問と否定的な5つの設問を組み合わせている。

(1) 設問内容

- 1 すべての点で自分に満足している。
- * 2 ときどき「自分はだめだなあ」と思うことがある。
- 3 いくつかの点で見どころがあると思っている。
- 4 友だちがやるのと同じくらいにいろいろなことができる。
- * 5 あまり得意なことがない。
- * 6 ときどき「役に立っていないなあ」と感じることもある。
- 7 少なくとも自分がほかの人と同じくらい価値ある人だと思う。
- * 8 もっと自分を尊敬できたらいいと思う。
- * 9 何をやっても失敗するのではないかと感じてしまう。
- 10 自分のことを積極的に認めている。

(2) 集計方法

各設問に「とてもそう思う」「少しそう思う」「あまりそうは思わない」「まったくそうは思わない」の4つの選択肢を設け、それぞれ4点、3点、2点、1点を配し、その合計点を持って自尊感情得点とした。

なお、*印の否定的な設問では得点を逆に配している。

(3) 評価方法

10の設問に対する回答に得点を配分することで、10～40点に自尊感情得点が分布することになる。中央値(25点)を超えて26点以上を得点した子どもを「自尊感情が高い」と評価している。

《生活実態調査》

普段の生活の様子について、それぞれ選択肢を設けて質問した。

- 1 あなたは、ふだん夜は何時ごろ寝ますか。
(1) 9時より前 (2) 9時～10時 (3) 10時～11時 (4) 11時～12時 (5) 12時より後
- 2 あなたは、ふだん何時間くらい外で遊びますか。
(1) 全然遊んでいない (2) 1時間より短い (3) 1時間くらい (4) 2時間くらい
(5) 3時間くらい (6) 4時間より長い
- 3 あなたは、ふだん何時間くらいテレビを見たり、ゲームをしますか。
(1) 全然見ていない (2) 1時間より短い (3) 1時間くらい (4) 2時間くらい
(5) 3時間くらい (6) 4時間より長い
- 4 あなたは、ふだん学校から帰って何時間くらい勉強をしますか。
(1) 全然していない (2) 1時間より短い (3) 1時間くらい (4) 2時間くらい
(5) 3時間くらい (6) 4時間より長い
- 5 あなたは、この1ヶ月間に何冊くらい本(マンガを除く)を読みましたか。
(1) 1冊も読んでいない (2) 1～4冊 (3) 5～9冊 (4) 10～14冊
(5) 15～19冊 (6) 20冊より多い
- 6 あなたは、親しい友達が何人くらいいますか。
(1) いない (2) 1～2人 (3) 3～4人 (4) 5～6人 (5) 7人より多い
- 7 あなたは、家の手伝いすることがありますか。
(1) よくする (2) ときどきする (3) あまりしない (4) まったくしない
- 8 あなたは、ふだん家の人から叱られたり、注意されることがありますか。
(1) よくある (2) ときどきある (3) あまりない (4) まったくない
- 9 あなたは、ふだん家の人からほめられることがありますか。
(1) よくある (2) ときどきある (3) あまりない (4) まったくない
- 10 あなたは、ふだん学校の授業で自分から手を上げて発言することがありますか。
(1) よくある (2) ときどきある (3) あまりない (4) まったくない